



▲川に竹炭を設置して水を浄化



▲免々田川で乱舞するゲンジボタル(見ごろは毎年5月末～6月初め)

地域の話題

清田校区

まちを育てる取り組み

地域の「宝物」を大切にしながら、住民相互の信頼と連帯感を高めている清田校区。ゲンジボタルの保護活動について、お便りが届きました。



清 田校区では、「豊かな自然環境・みんなに愛される地域・みんなで人づくり」を将来像に、地域づくりを進めている。

ゲンジボタルに託す夢

免々田川に生息しているゲンジボタルは、地域の宝の一つである。校区では、ホタルが飛び交う昔の情景を取り戻そうと、川の清掃や水質改善に取り組んでいる。幸いにも、流域に州ができており、ホタルの幼虫が蛹になれる場所が自然に確保されている。

竹炭による川の浄化

里山を荒らす原因となっている孟宗竹。それを竹炭にして川に設置し、水の浄化に有効活用している。



▲小学生も竹炭づくりに挑戦

平成19年3月に、約750kgの竹炭を川の8か所に設置して以来、毎年3月に新しい竹炭と取り替えている。

「ホタルが舞うまちはみんなの願い」をテーマに、観察会とあわせて小学生にも竹炭づくりを体験してもらっている。環境について考える心が育つことを期待している。

2kmにおよぶ幻想的な灯り

川面を飛び交うゲンジボタルの数は年々増加し、生息域も下流に広がり、鑑賞者も増えてきた。今年は、市のホームページに掲載してもらったり、訪れる人の車を渥美支所の駐車場に誘導したりした。

渥美支所からの鑑賞コースには、清田・福江まちづくり推進協議会のメンバーが中心となって灯籠を約80本設置した。ホタルの光とともに幻想的な灯りを醸し出し、自然の豊かさを実感できたと思う。

豊かな自然の証、各地へ発信

免々田川のゲンジボタルは市外にも知られている。ホタルの観賞を宿泊プランにしているところもある。また、岡崎市の方から、次のようなコメントをいただいた。

「免々田川のように約2kmの川面に無数のホタルが乱舞している所は他にみることができない。来るたびに感動している。」

これからも、自然を愛し、自然と共に生きる地域づくりに取り組んでいきたい。

(清田地域環境保全会)

会長 木村春雄